

よさの地域デザイン会議 (加悦地域)

近くがよい ←

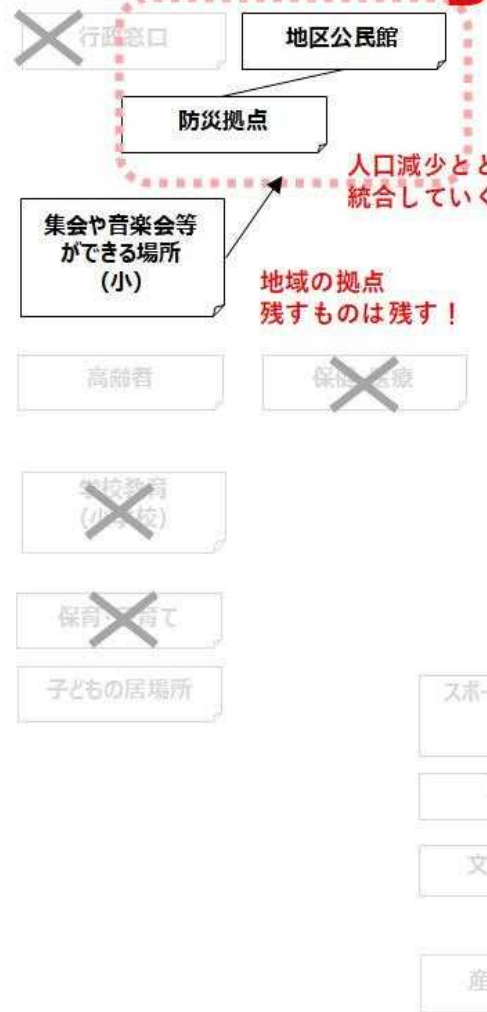
→ 近くになくてもよい
遠隔

小学校区

旧町区域

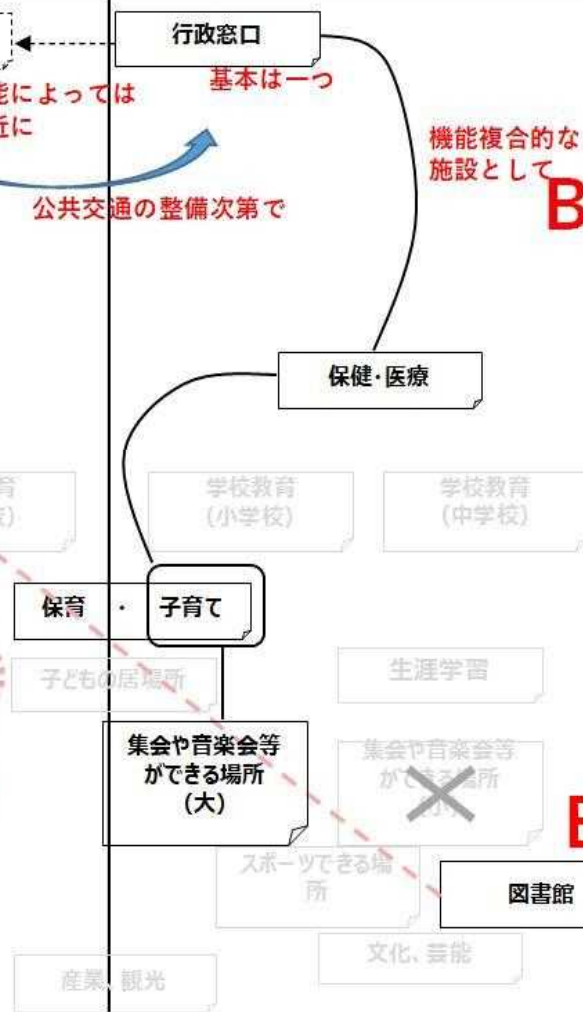
全町域＝まちの1つで良いサービス

近隣市町

高齢者の
ためには・・・機能によっては
身近に

基本は一つ

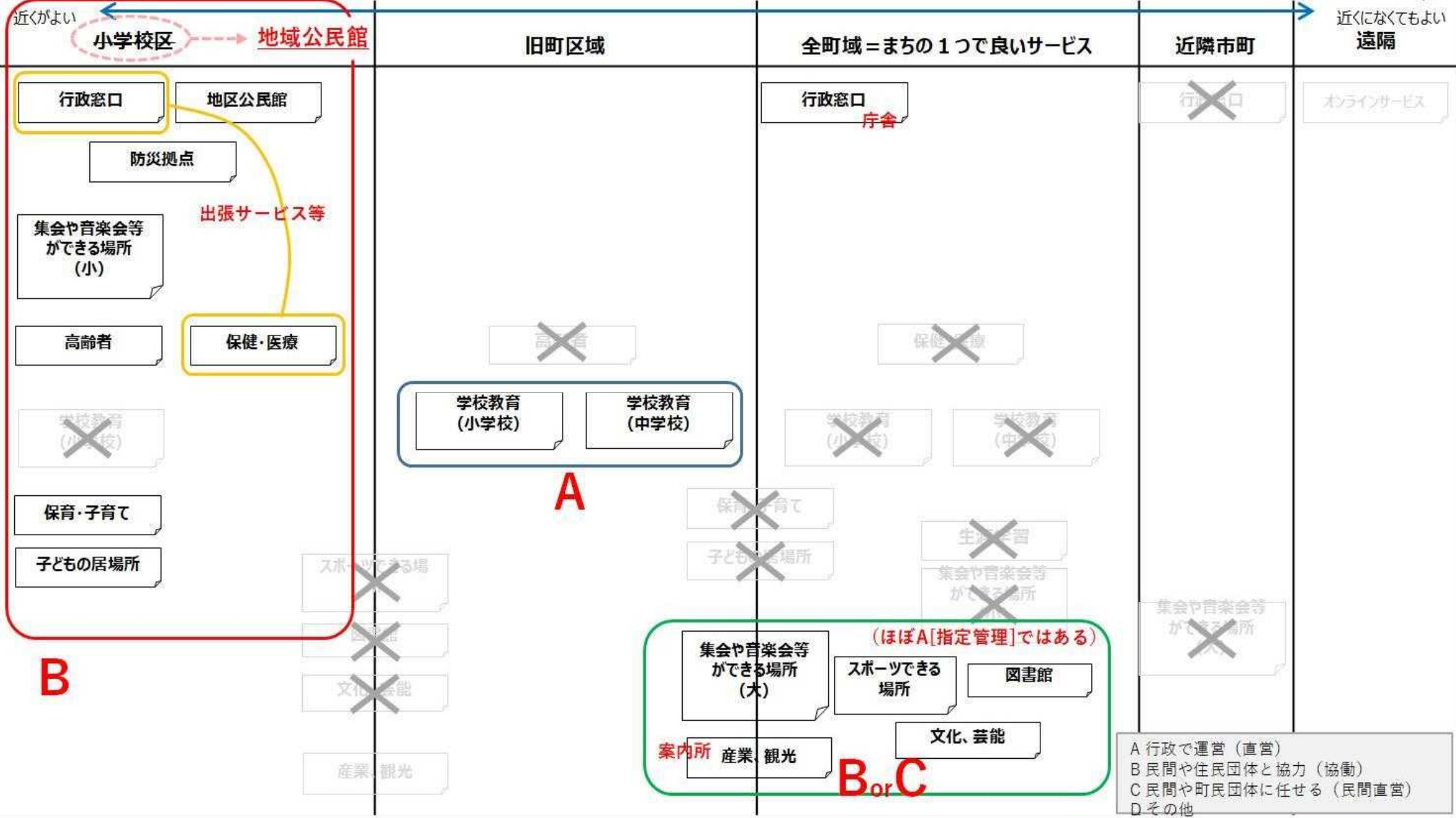
公共交通の整備次第で

機能複合的な
施設として今ある施設を活かして、
人が集まる工夫
をしては・大江山運動公園
・古墳公園
・双峰公園人の流れ
お金生まれる

- A 行政で運営（直営）
 B 民間や住民団体と協力（協働）
 C 民間や町民団体に任せる（民間直営）
 D その他

- 行政窓口は、町に一つに集約する（行政機能の集約化には地域交通の利便性の向上と手続きのオンライン化が大前提）。
- 行政機能だけでなく、民間の商業施設等との複合的な施設とするなど、人が集まる施設の整備を進める。
- 子供の遊び場や地域コミュニティの拠点は地域に残す。

- 魅力的な施設が点在しており、線をつなぐと新たな価値が生まれる可能性が大いにある。行政・民間が協働して、今ある施設に磨きをかけ、ヒトやお金が還流する仕掛けをつくる。
- 地区公民館に、いろいろな機能を付加していく（例えば、防災拠点や図書館機能など）。

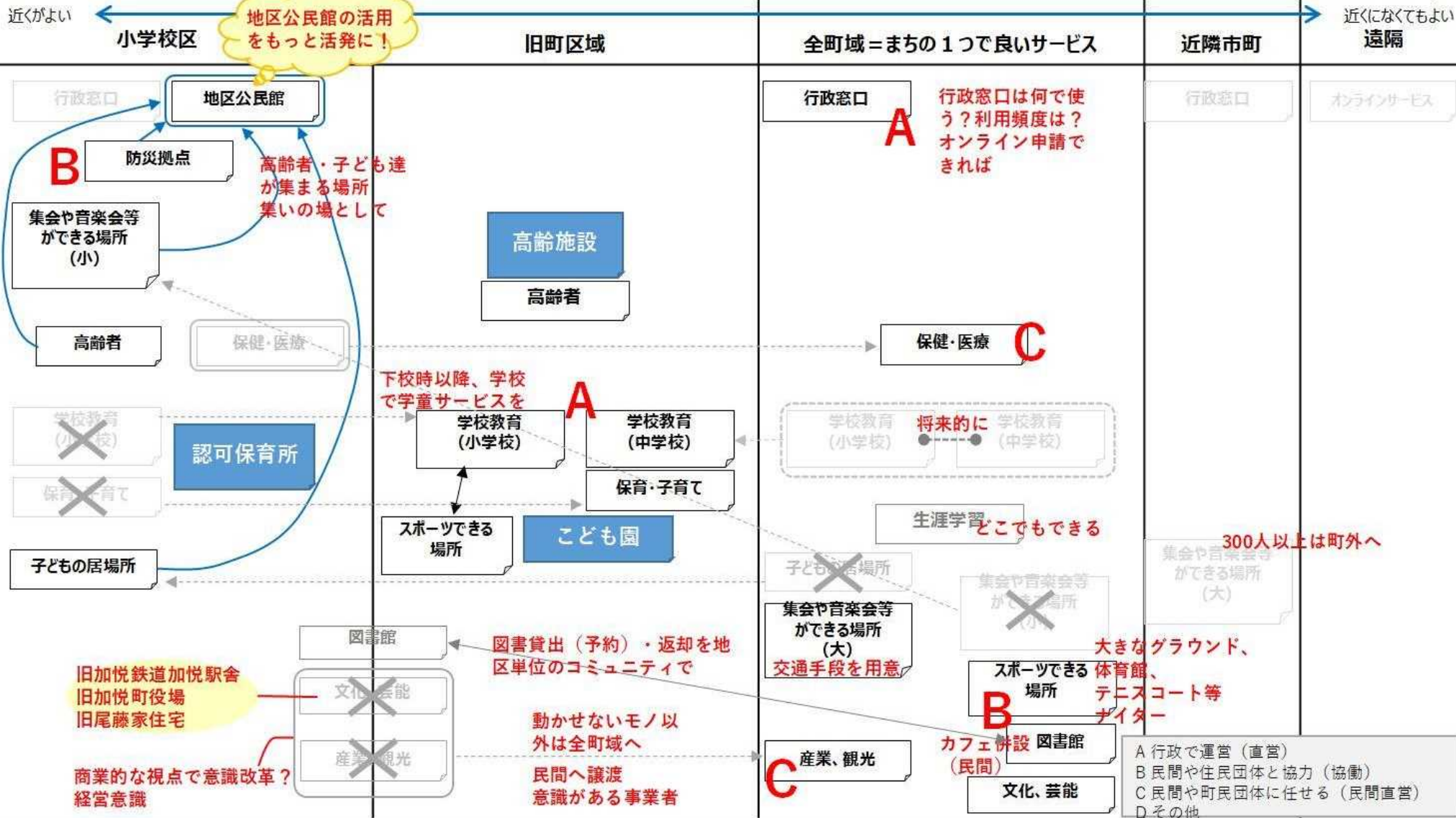


・地域公民館を拠点に、各種サービス（保健・医療、高齢者、子育て）を受けられるよう集約する。

「方法」 協働：民間直営は現実的には不可能と考えられるため、職員派遣など（出張サービス）の行政支援によりサービス低下を抑止しつつ、旧町や全域にある同機能施設を統廃合させる。

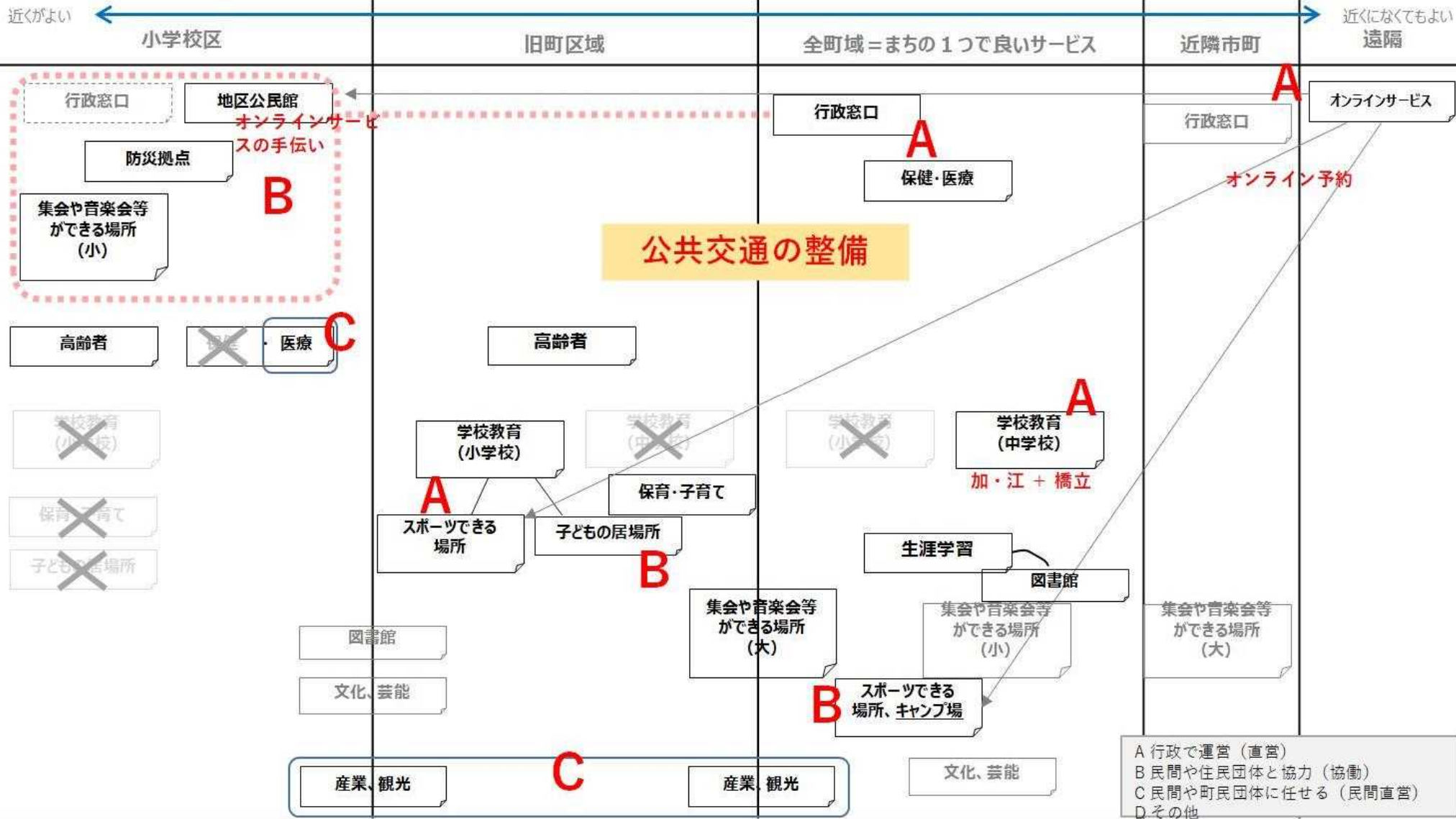
・図書館、スポーツ施設、集会所（大）については、利便性向上を前提とし全町域で一つの施設に集約する。

「方法」 協働→民間直営：いきなり民間直営施設とするのは困難であるため、将来的な展望（期間など）として民間直営運営に切り替えていく。指定管理施設として施設を維持管理し、一定期間内に民間直営運営に変更する。



- ・地区公民館の機能を拡充・活発に!
- ・従来の機能に加え、人が集まることができる憩いの場として。
- ・教育施設は下校時以降の時間帯で学童サービスを!
- ・行政窓口は町域に一つとし、オンライン申請で対応できる体制を整える。
- ・文化的施設で不動産そのものが文化的なものは現状維持。

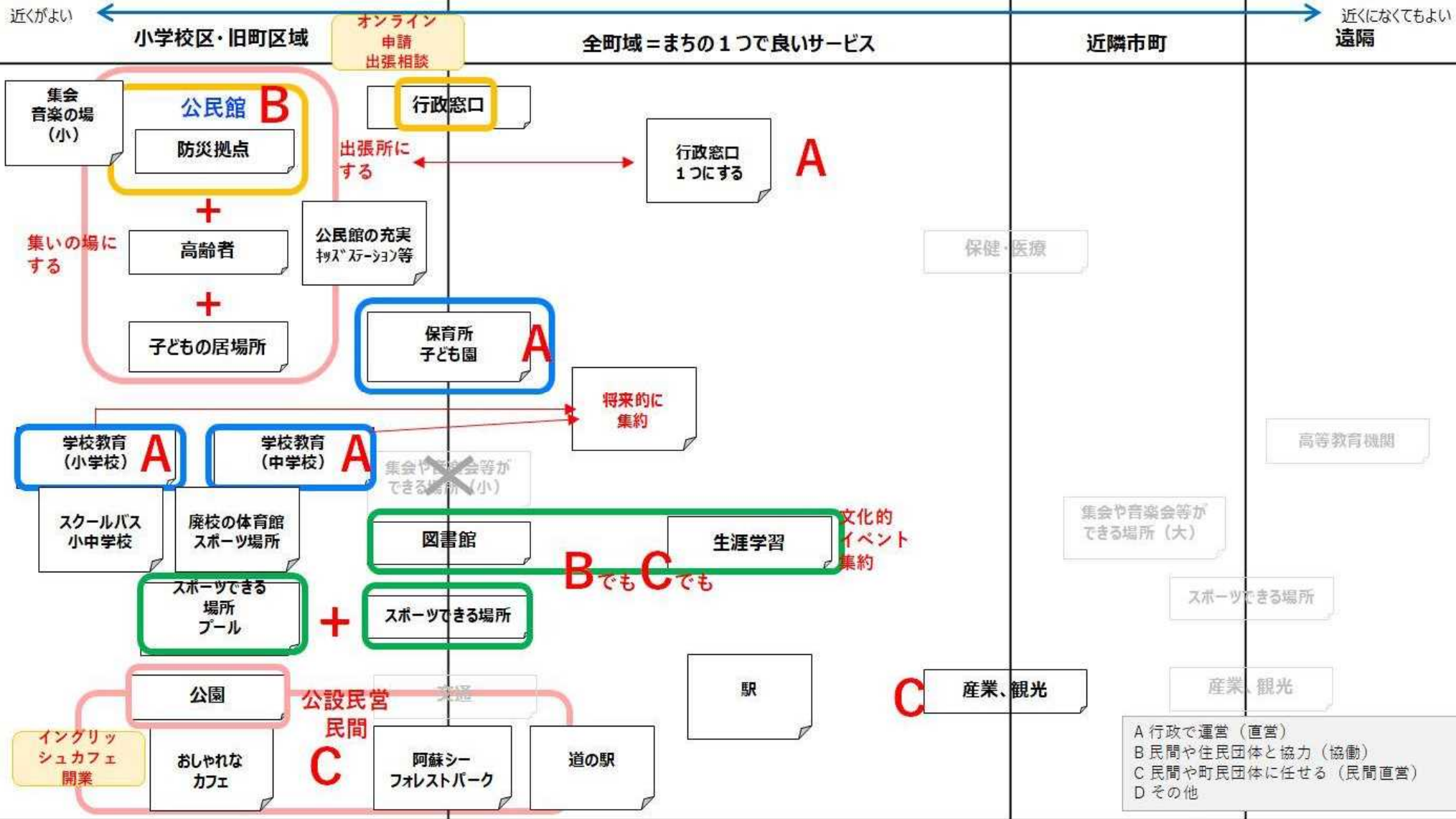
- ・グラウンド、図書館、大規模集会所等は民間の力を取り入れながら経営的視点で運営できるよう集約する。



- 施設の集約や統合には、公共交通の整備とオンライン化が必須。
- 役場庁舎は一つに集約：住民票、所得証明、納税証明等の窓口業務を公民館やコンビニで発行できるようにする。
- 公民館機能の充実：行政窓口機能、防災拠点、高齢者の集いの場など

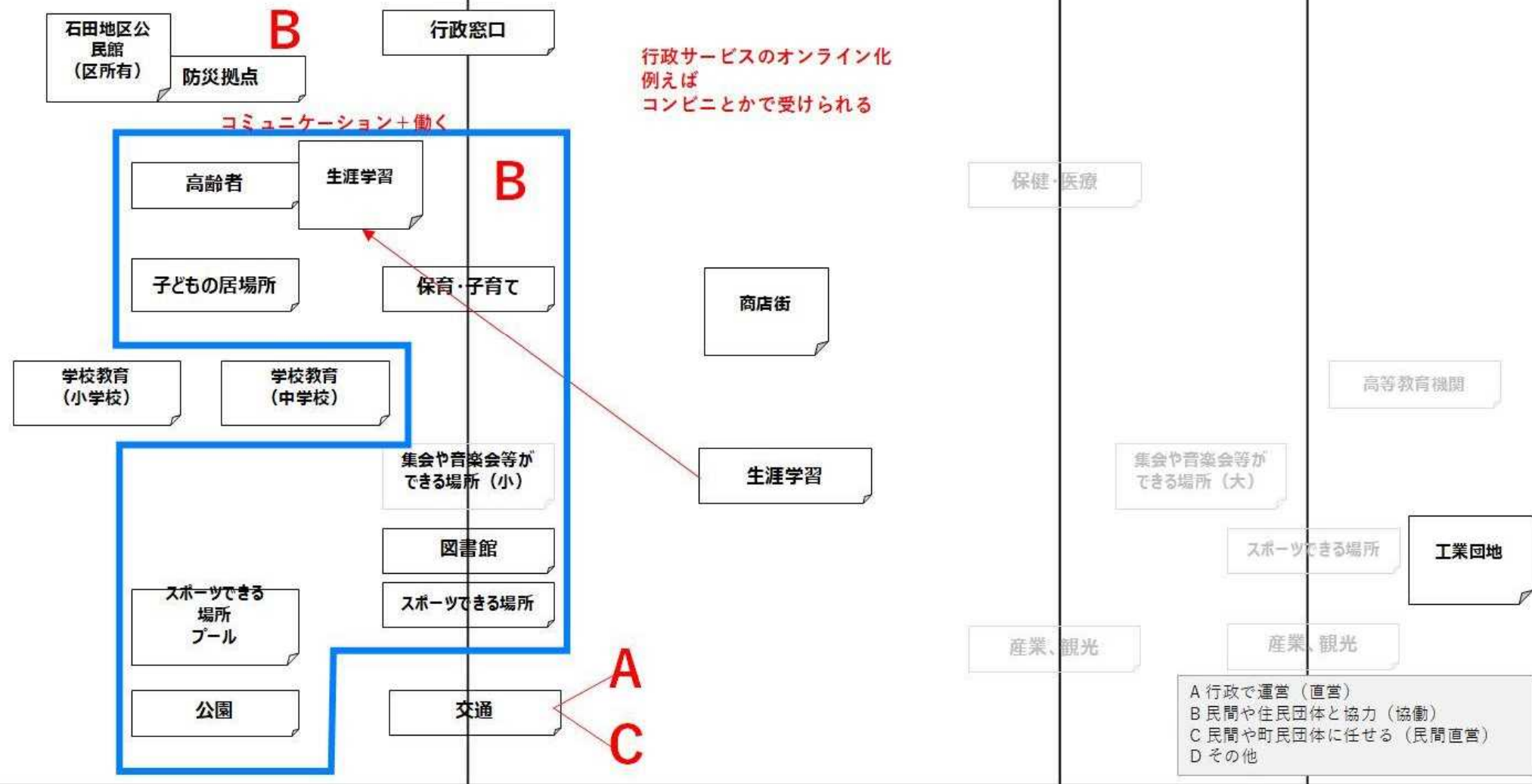
- 公共施設の利用：全施設のオンライン予約を可能とする。
- 小中学校の統廃合：将来的には小学校は旧町に1校、中学校は町に1校。子どもの居場所（学童やスポーツなど）を組み込む。
- 産業、観光施設：民間に任せる。

よさの地域デザイン会議 (岩滝地域)



- 行政窓口の集約 (オンライン申請、出張相談等でフォローアップ)
- 地区公民館の充実 (サービスの複合化: 役場窓口の出張所、高齢者や子供の集まる場所など) → 民間の力も活用
- 小中学校は将来的には集約 (町内の子どもが極端に減少した場合)
- 文化的施設 (イベント施設、体育施設、図書館等) の複合化 → 民間の力も活用

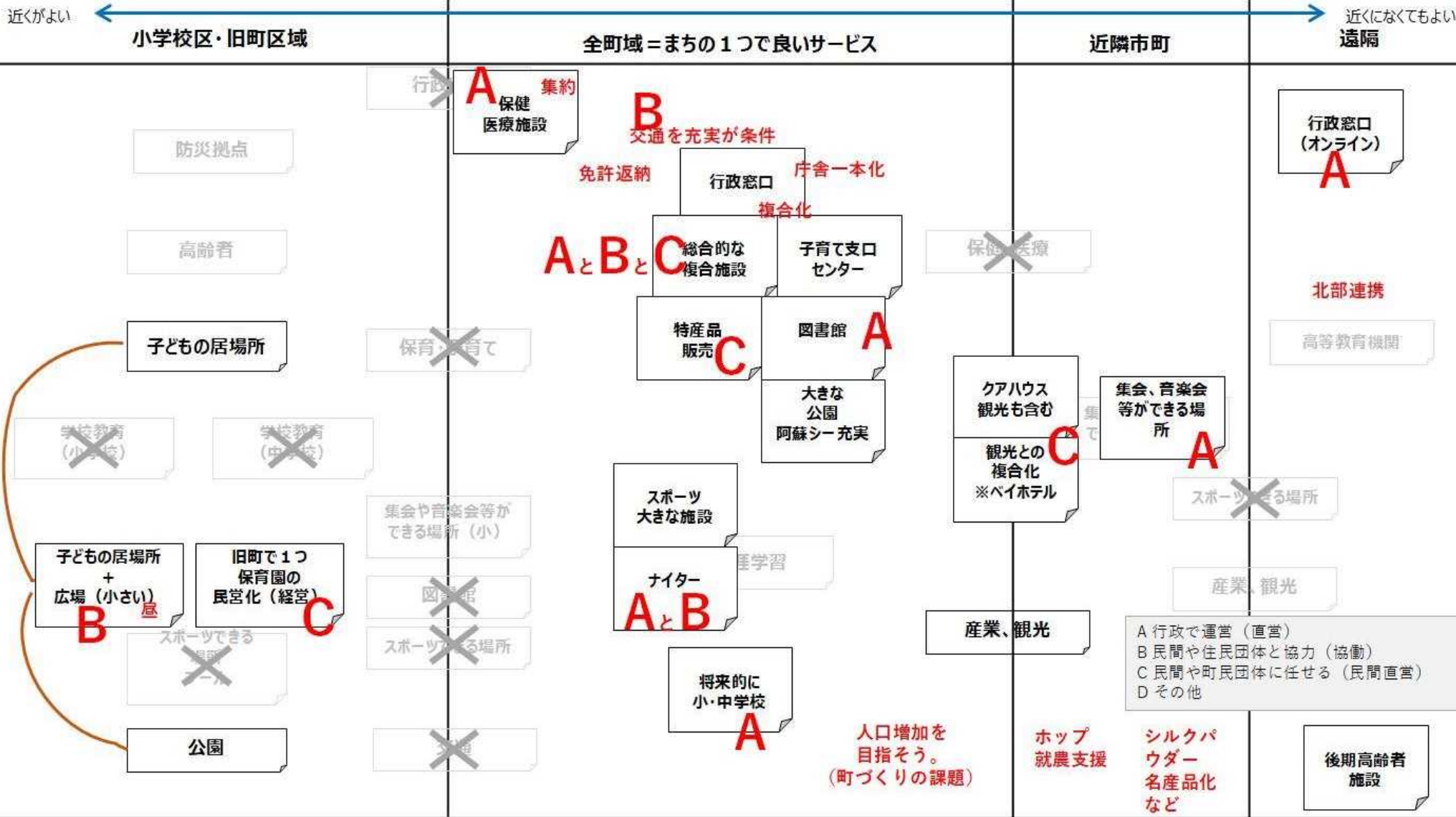
- 阿蘇シーサイドパークに道の駅や、カフェなどの商業施設を複合化 → 公設民営
- 全体を通じて個人情報扱うサービス以外の部分については、民間の力を活用して行く余地がある



- A 行政で運営 (直営)
B 民間や住民団体と協力 (協働)
C 民間や町民団体に任せる (民間直営)
D その他

- 行政窓口の利便性の向上 (コンビニやオンライン等で申請できるような仕組み作り)
- 交通の利便性の向上 (採算の取れそうな地域においては民間による運営とし、難しい地域においては行政が運営する必要がある。この際、高齢者等に対する割引支援などを町が行えば高齢者も利用しやすく民間も参入しやすい。)
- 防災拠点運営における民間・住民の参入 (各地区における独自運営を増やす。)

- 多世代間交流施設の充実 (公民館等を活用し、高齢者から子どもまでの広い世代がコミュニケーションをとれるだけでなく、働けるような施設にすることで、住民にとっての居場所兼収入を得られる場所となる。)
- 学校の図書館の蔵書が古く、更新されていない。多世代間交流施設に機能を統合してはどうか。他にも運動できるスペースや公園などもあれば利用者も増える。

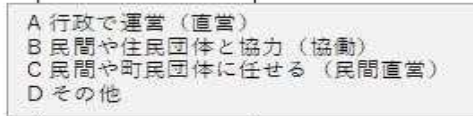


- ・庁舎一本化 (窓口に係るコストを削減する。また、サービスを下げないようコンビニ対応やオンライン化など利用しやすくする。)
- ・総合的な複合施設の設置 (図書館や子育て支援センターなどを集約し、集客が見込める利便性のよい施設とする。)
- ・医療関係施設の集約 (健診など医療関係の施設をまとめ集約する。)

- ・小中学校の集約 (子どもの人口が減少した場合)
- ・保育園の民営化 (旧町で各1施設へ)
- ・子どもの居場所づくり (公園を大きさに分けて活用方法を見直す。)
- ・人口増加を目指す。 (施設の統廃合や合理化と並行して人口を増加させる取り組みを実施する。)

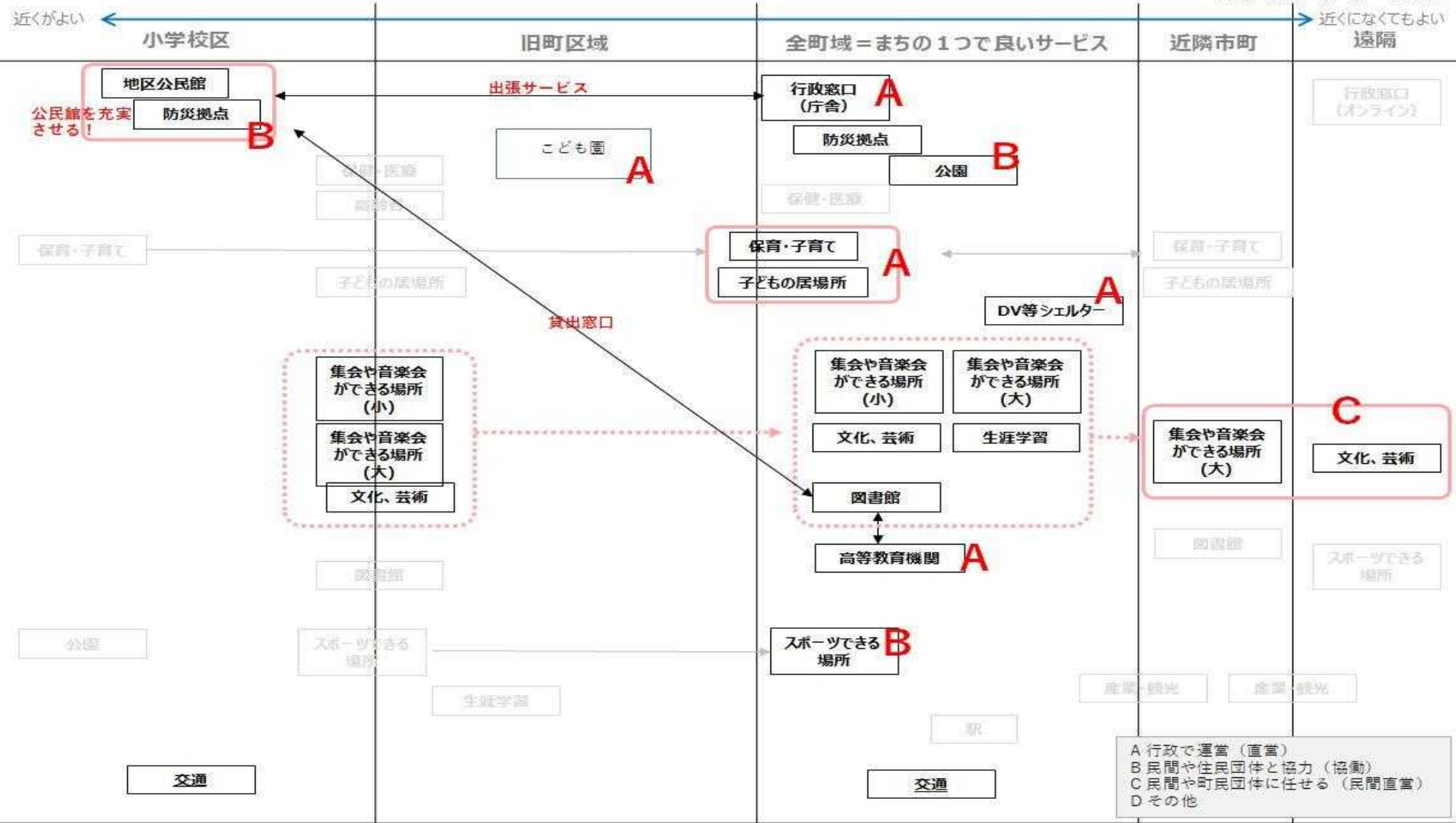
よさの地域デザイン会議 (野田川地域)

・近くになくてもよい
遠隔

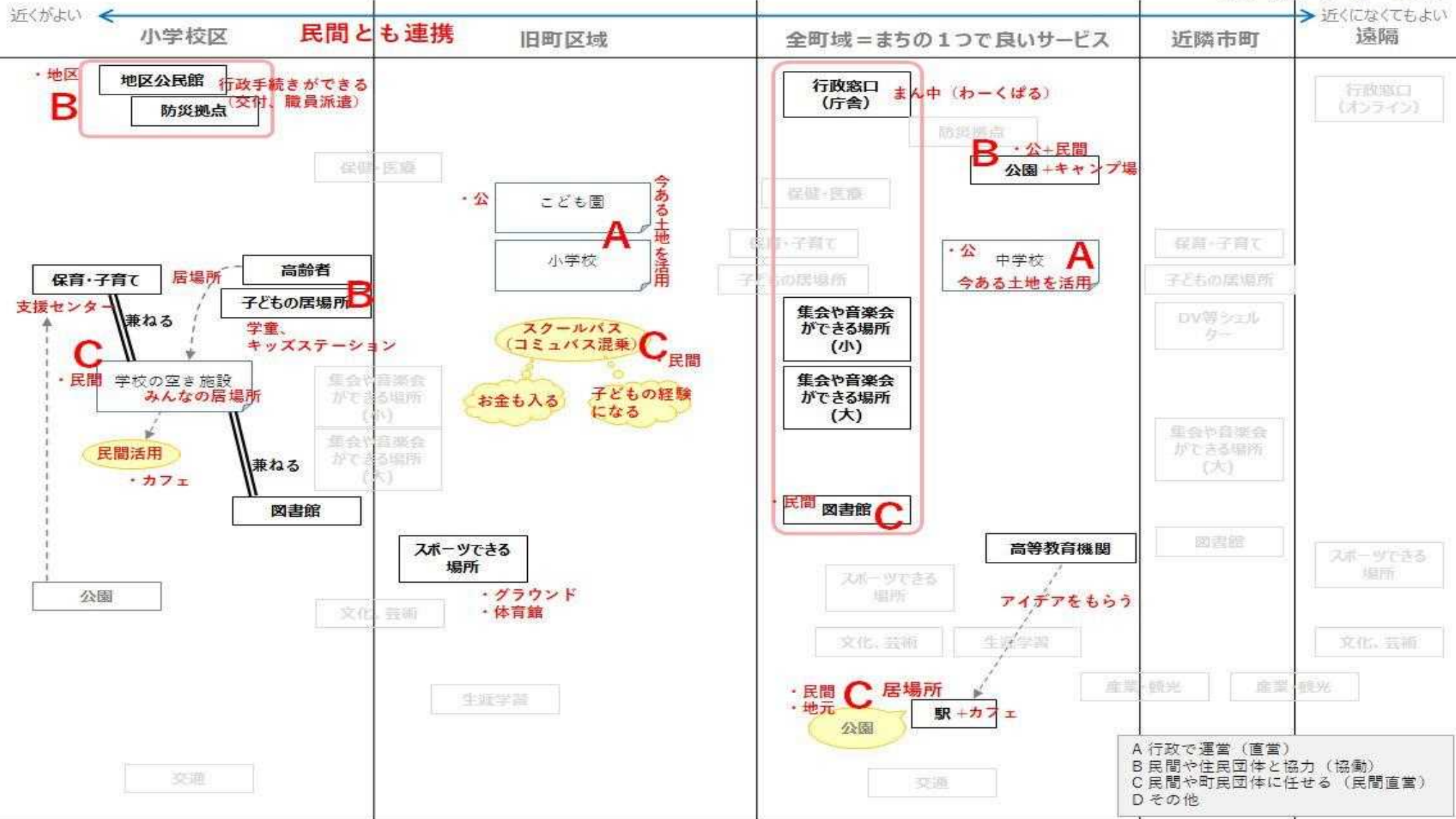


- ・庁舎は一つに出張サービスによる窓口業務で充実するほかオンライン申請も。
- ・公園を民間直営にしてグランピング（キャンプ）やイベントなどに活用する。
- ・駅を拠点とした集約。（駅、カフェ、高校生の地域活動拠点、公園）
- ・文化や芸術の発表の場として小規模のものは公民館、大規模のものは全町域に一つ大規模集会場を利用する。

野田川地域 2班



- ・音楽ホールや文化、芸術のための施設は、近隣市町に一つだけというような思い切った統合も必要。→大きく統合できれば利益も出やすいため、民間企業による運営も視野に入ってくると思う。
- ・各地区にある公民館を行政窓口、図書館の窓口を利用する。→庁舎の一本化や、図書館の統合に繋がる。
- ・民間企業による運営を実現できればメリットは大きいですが、現存する与謝野町の施設で収益を得ることは困難だと思う。
- ・少しでも個人情報を扱う施設は、しっかり行政運営としてほしい。



・役場は町の真ん中に一つ。地区公民館やコンビニで簡易な交付手続きができるように。

・こども園や小学校は旧町単位に1つ。ただし小学校にスクールバスは必須。バス運営は民間で、コミュバスに混乗するなど日中も無駄にならないような活用を。

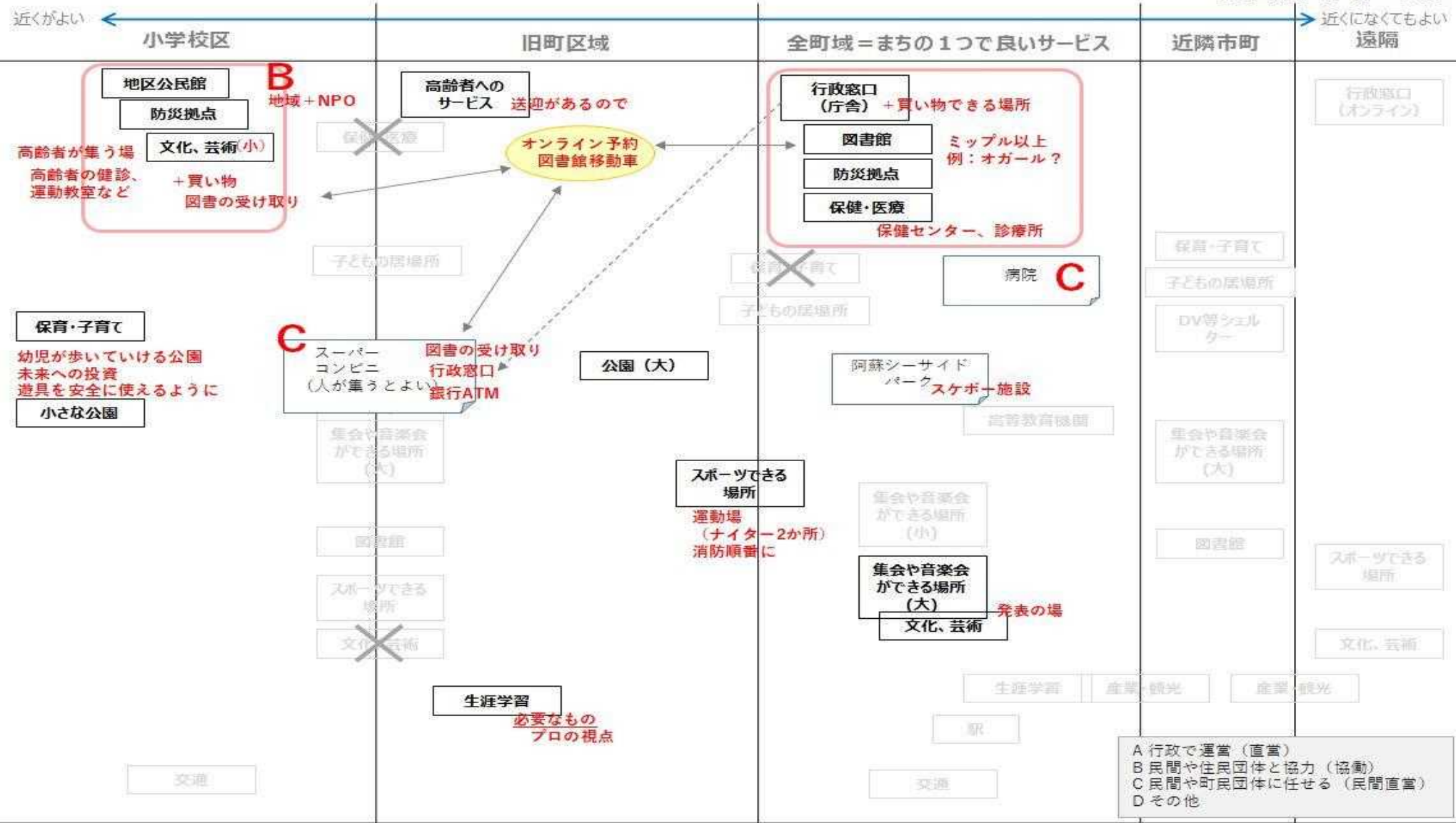
・空いた小学校は、カフェや図書室、子育て支援センター等を兼ね備え、子ども～高齢者の居場所を確保しつつ、民間の力で自由に使ってもらっては。

・公園やカフェの併設など、民間や地元の力で与謝野駅も居場所の一つに。

・スポーツができる場所(グラウンド・体育館)は旧町単位で。

・空いた学校のグラウンドの活用はできても、体育館はサイズが小さいので兼ねられないのではないか。

野田川地域 4班



- ・庁舎は1つにし、スーパーやコンビニ等、人が集いやすい場所にも行政窓口を
- ・子育て関連、幼児が遊べる小さな公園は近くにあった方がよい
- ・民間・NPOの協働により地区公民館を運営
- ・防災拠点や小規模な文化・芸術の場としても活用
- ・高齢者関連施設については、送迎を伴うサービスは旧町区域でよいのでは
- ・図書館は1つでよい オンライン予約も可とし、公民館やスーパー等複数箇所に受取りの場を設ける
- ・庁舎やスーパー、公民館等、足を運びやすい場所で買い物・ATMなど日常に利用するサービスの複合化を
- ・スポーツ施設のナイターは2ヶ所に集約を 操法訓練は日程を調整し順番に使用